

## コラム 女性農業者グループの農作業安全の取組のご紹介

### 青森県カッチャレンジャークラブ

地元の方言で「お母さん」を意味する「かっチャ」に「チャレンジャー」を合体して命名しました。

市町村の枠を超えた集まりですが、「安全確認もう一度」を合い言葉に、地域農業者への農作業安全の啓発、クラブメンバー自身の知識、技能の向上に取り組んでいます。



元気いっぱい！ピンクがトレードマークの「カッチャレンジャークラブ」の会員です。

Q. この取組がはじまったきっかけは？

A. もともと農耕用大型特殊免許を持っていた**女性農業者が、県の事業で農業機械の安全な操作などを勉強したことで、農作業安全を地域に広めようという気運が高まり、女性農業者有志で平成14年度に結成**しました。

Q. どのくらい的人数で、どのような活動をしているのですか？

A. **五戸地方（五戸町、新郷村）に在住する11名で、五戸町や新郷村、JA八戸の協力を得ながら、啓発活動を実施**しています。春、秋の農作業安全確認運動の期間とあわせて、イベント等で**安全啓発チラシや啓発グッズ**を配布しています。当初は認知度も低かったですが、トラクターに乗った男性農業者を呼び止めて啓発したり、取組がテレビ放映されたりすることで、少しずつ認知度も上がってきました。また、**年1回、農作業安全に関する講習会**において、農業機械の最新情報や安全な操作方法、農作業時の事故防止対策について、受講しています。



Q. カッチャレンジャークラブの取組を通じて感じることは？

A. メンバーは明るくて気さくな人ばかりなので、ヒヤリハット体験や安全対策について**気軽に情報交換**ができます。今後は、農作業に関するファッションショーや農作業安全の寸劇もやってみようかな、なんて話もしています。**カッチャレンジャーで農作業安全の啓発をしているからこそ、自分の家族や地域から農作業事故を発生させたくない**と思い、農作業に入る前は安全確認に気をつけるようになりました。

（農作業安全）農林水産省生産局技術普及課生産資材対策室 03-3502-8111（内線:4774）

（農業女子プロジェクト）農林水産省経営局就農・女性課女性活躍推進室 03-3502-8111（内線:5914）

# 安全な農作業について考えてみましょう

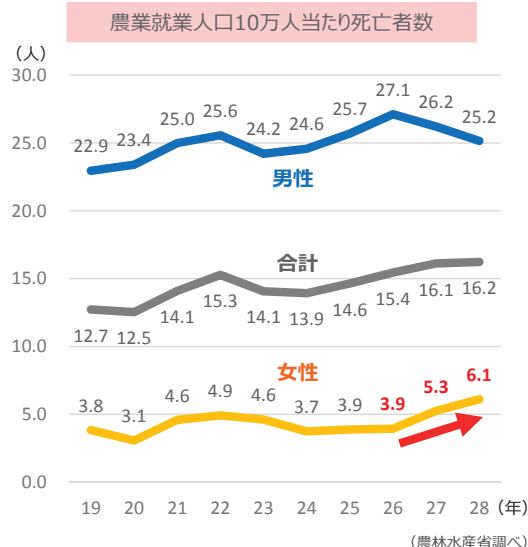
農林水産省  
農作業安全×農業女子プロジェクト



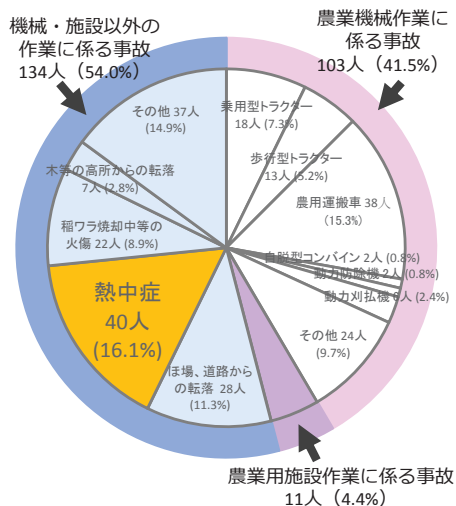
## 女性農業者の農作業事故の状況をご存じですか

女性農業者の農作業中の死亡事故は、**直近3年間（26-28年）増加**しています。就業人口あたりの死亡者数も、**男性と比較して上昇傾向**にあります。

死亡の要因は、機械・施設以外の作業に係る事故、特に**熱中症**で亡くなる方が最も多くなっています。



女性農業者の要因別の死亡事故発生状況 (平成24～28年)



## 農業女子プロジェクトメンバーに農作業中のヒヤリ・ハット体験を聞きました

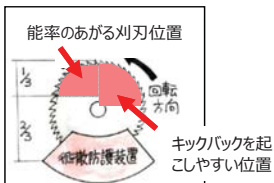
### ▶▶シーン1 草刈り作業

刈払機を使った草刈りで、石やコンクリートブロックに刃が当たってキックバックした時や、絡んだ長い草を外そうとして大きく刈払機を振った時に近くに人がいてヒヤリとしました。



### 草刈り作業でのチェックポイント

- 使用前に必ず取扱説明書を読みましょう
- 作業に適した作業服・保護具を使いましょう
- 作業前に各部の点検をしましょう
- 肩掛バンドやハンドルを作業しやすい位置に調節しましょう
- 燃料補給はエンジンが冷えている時に行いましょう
- あらかじめ作業現場の異物・障害物を取り除きましょう
- 作業中は15m以内に人を近づけないようにしましょう
- 刈払作業中の作業者に近づく時は前方から合図をしましょう
- 傾斜地での作業は足場を確認しましょう
- キックバック現象の無い、能率のあがる刈刃位置で作業しましょう
- 刈払機の調子が悪いときは、すぐ作業をやめましょう



### ▶▶シーン2 暑熱環境下の作業

農作業中に熱中症を発症し、1番ひどい時はめまい、頭痛、吐き気をもよおしました。作業中すこしだるいなと感じただけの時も、帰宅後、頭痛、吐き気、のぼせを感じたことがありました。



### 暑熱環境下での作業のチェックポイント

- しっかり寝て体調を整え、朝食を食べましょう
- 帽子や吸汗速乾性の高い服など、熱中症予防グッズを活用しましょう
- 緊急連絡先を確認し、具合が悪くなったら連絡出来るよう携帯電話をもっていきましょう
- ゆとりある作業計画をたてましょう
- ハウスや畜舎などは、風通しをよくするなどの対策をしましょう
- 複数人で作業をするか、時間を決めて声かけをするなど、定期的に異常がないか確認しましょう
- こまめに水分・塩分の補給、休憩の時間をとるようにしましょう

体調不良の症状が見られたら**すぐに作業を中断し、応急処置**を行い、症状が良くならない場合は**すぐに病院へ!**



## 農業女子プロジェクトメンバーに熱中症対策を聞きました



星野純子さん (福岡県)

**凍ったペットボトルと梅干し・梅ジュース**による水分・塩分補給や昼間4時間を休憩時間とする「**サマー仏**」を導入しています。十分な睡眠と旬のものを取り入れたバランスの良い昼食が重要！グループで作業することで、従業員の変化にいち早く気づけるようにしています。



1 凍ったペットボトル  
2 梅干しで塩分補給  
3 休憩時間



瀧澤初江さん (群馬県)

日本一暑くなる日もある地域で、天然塩の飴や水筒は必須！紫外線防止サングラスも重要です。秘密兵器、**扇風機付き作業服**はとても涼しいですよ。皆さんもぜひお試しください!!



扇風機



向井明日香さん (佐賀県)

**凍らせたウォーターバック**を**ナップサック**に入れて作業するとよいですよ！ウォーターバックは、3分の1程度水を入れ、空気を抜きながら蓋を開めます。平らにして凍らせた後、準備完了！背中が冷え冷えしていいですよ。数百円で揃います。



ナップサック ウォーターバック

あなたの危険体験は、他の人も経験しているかもしれません。体験を共有して、どんな予防対策ができるか考えてみましょう。そして、**取り組みやすい対策からひとつでも実践**してみましょう！